

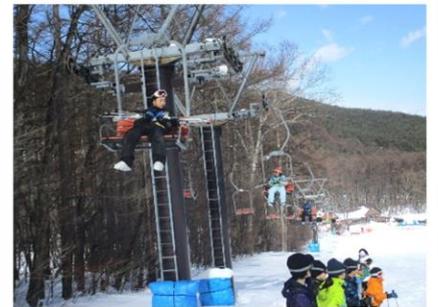
みどりの丘

文責 二本松市立新殿小学校長 高松宏光

冬を満喫（スキー教室）

中国上海の日本人学校で担任をしていた時のこと、クラスの子どもたちは、北は北海道、南は沖縄まで、日本各地から集まっていました。ある年の冬、教室の窓越しに雪が降り始めたことに気付いた子が「雪だ!」と叫ぶと、クラスの子どもたち全員が窓際に駆け寄っていきました。上海では雪は珍しく、沖縄県をはじめ、西日本からきた子どもたちの興奮は相当なものでした。子どもたちに雪遊びをせがまれ、昼休みに校舎の屋上に行って、誰も触っていない薄ら積もった雪を楽しんだことを思い出します。

私たちが住む福島県には、素晴らしいスキー場がいくつもあります。また、二本松市内にも複数あり、《冬》という季節を楽しめる環境にあります。14日(金)3年生以上の子どもたちが塩沢スキー場を訪れ、【スキー教室】を実施してきました。子どものうちから、雪を楽しむスポーツに触れることで、《冬》の季節にも楽しみを見いだしてくれればと思います。



国際理解教育(マダカスカルのくらし)

【マダカスカル】を日本版ウエキペディアで検索すると、次のように書いてあります。「アフリカ大陸の南東海岸部から沖へ約 400 キロメートル離れた西インド洋にあるマダガスカル島および周辺の島々からなる島国。日本の国土面積の約 1.6 倍の広さを持つ、六大陸を



除いた世界で 4 番目に大きな島。…」

3 日(月)保護者のご協力を得て、【マダカスカル】の生活や文化について学ぶ貴重な機会を得ました。雨期と乾季の二つの季節しかないこと、独特の動植物、発展途上国の生活環境、学校の進級制度など、日本とは大きく違う様々なことに、子どもたち興味津々、そして驚いていました。



《4年:芹菜さん》

話を聞いて日本との違いがたくさんあってびっくりしました。特におどろいたのは、季節が二つしかないことです。マダカスカルのことがたくさん知れてよかったです。

《5年:穂乃佳さん》

今の日本がふつうのことだと思っていたけれど、マダカスカルの生活や食事のことを聞いて、ふつうではないことが分かりました。特におどろいたのが学校のことで、テストによって留年や進級をすることです。

《6年:優奈さん》

一番おどろいたことは、マダカスカルは日本が大好きだということです。「進撃の巨人」「メイド」などのコスプレや剣道などの日本文化があっという間でした。300円ぐらいで生活をしていることを知って、改めて世界の人々の中には貧しい人がいるのだと、少し悲しくなりました。

新入生保護者説明会

5日(水)来年度入学予定の保護者様にご来校いただき、保護者説明会を開催しました。5人の入学予定のお子さん全てが、本校に兄あるいは姉がいるということで、学校生活や子どもたちの様子は既にご理解いただいていたと思います。現在のところ、来年度の児童数は29名を予定し



ており、今年度と大きく変わりませんが、実家庭数は4世帯減となり20にます。

こうした状況を踏まえ、PTA組織の再編についても、本部役員会で検討したところです。(総会にて提案予定)

充実した学校経営・運営には、保護者様のお力が欠かせません。来年度も、新殿小学校教育へのご理解・協力のほど、よろしくお願いします。



【園児のお世話をする低学年】

第3回学校運営協議会

7日(金)第3回の学校運営協議会が本校で行われました。今回は、授業を参観していただいた後に、令和6年度の学校経営・運営についての振り返りと、来年度の経営・運営ビジョンの説明を中心に行いました。協議会の中では、新聞報道等があった適正規模・適正配置を受けた学校の統合についても話題にあがりました。今後、市から示される統合までのスケジュールを踏まえ、旭小や小浜小学校との連携を深めながらしっかり準備していくことを確認しました。

